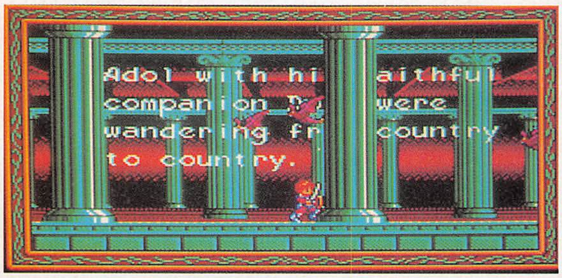

Ys
WANDERERS FROM YS
イースⅢ　FAN　BOOK

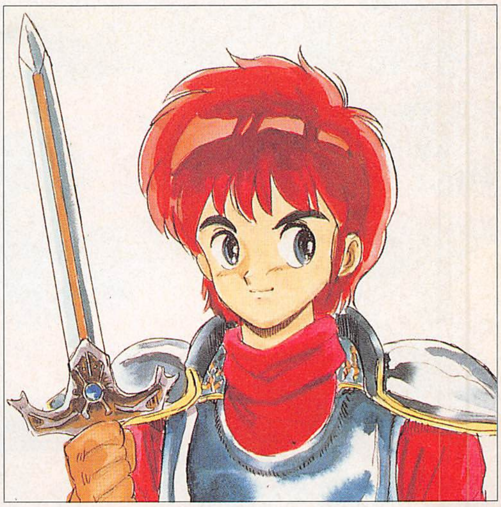
ドギの生まれ故郷レドモントの町
そこにアドルが見たものは?!



どこかの神殿を歩いていくアドル。柱がみごとに2重スクロールして奥行きを表現している場面だ



オープニングは町のようすを描いている。２人が町の中に入ってきたところでタイトルだ



いつも元気な
アドル=クリスティンであった

『イース』アクションゲームに大変身のナゾ！

イースの国に平和を取り戻したアドル。『イース』『イース2』ともにニュータイプRPGとして注目を集め、RPGファンといわず、すべてのゲームファンを実際に楽しませてくれたのも記憶に新しい。

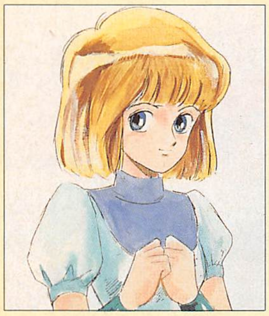
何が面白かったのか、と聞かれてもはいこれですとは答えにくいものだが『イース』シリーズなら即座に答えられる。そう、シナリオが十分に楽しめる内容だったから。

豊富な登場人物、個性的なのが並んでいた。リリア、フィーナ、レアのきれいどころはいわずもがなで、そのほかにも恋人を助けるために自分の力もかえりみずにダンジョンに飛び込むやつ、盗賊の首領、薄幸の女占師、モンスターにされてしまったキース。

場所の変化も気分が変わってよかった。『イース2』でいえば、薄気味の悪いダンジョンから、いきなり白が主体の明るい外へ、それから火山地帯へ。敵の神殿に辿り着いたときのうれしさ。デカキャラとの対決も落とせない。これに関しては『イース』のほうが決定的に面白かった。難しいのだが、何度もやっていると次第に攻略法が見えてくる。雑誌の攻略記事を見なくても十分倒せる。このへんのバランスが絶妙だったのだ。もちろん、敵の攻撃パターンも様々で、カマキリあり、岩石男あり。

これら全部を合わせて『イース』は傑作ゲームの名をほしいままにしていた。そして『III』の登場である。だが、中味はアクションゲームの要素の強いものになっている。舞台がイースでもなく、登場するのもアドルでなくてもよかったといえそうで、どうして違う名前のゲームにしなかったのだろうか、とちょっと考えてしまう。

イースIII ファンブック INDEX



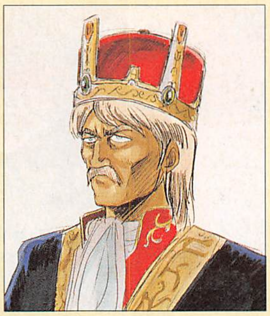
エレナ

↑ドギの幼馴染み。かわいい顔をしてなかなか行動力にあふれた女の子だ。家出したチェスターを心配している



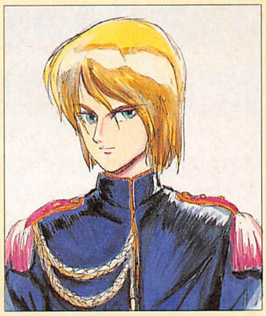
ドギ

↑元盗賊。アドルの2度の冒険の中で彼の果たした役割はかなり大きい。10年ぶりに故郷に帰ってきた



マクガイア王

↑バレスタイン城の城主。何か恐ろしい野望をもっているらしい。町の人にもあまり評判が良くない



チェスター

↑エレナの兄でドギの幼馴染み。マクガイア王に仕え、手足となって暗躍するが、アドルにじゃまされっぱなし

これがイースⅢの登場人物なのだっ！

こんどはエレナ！ リリアはどうしたんだっ！

さて、イースの国を救ったアドルは、その好奇心を満たすべく、次なる冒険に出発した。今までの2度の冒険の中で、意気投合したドギといっしょに……。

そして2年の時が過ぎた。

ある日、隊商に出会った2人は、奇妙なうわさを耳にした。ドギの故郷であるフェルガナ地方が相次ぐ災難に見舞われているというのだ。二度と帰らないと思った故郷……、ドギはアドルに初めて故郷のことを打ち明けた。それから、2人の足は自然とフェルガナに向かっていた。

ドギの生まれた町、レドモントを目指して歩く2人にも様々な出来事が起こる。道の道祖神が破壊されている、山猫が人間を襲う、作物の謎の枯れ死などなど。なにかが起こっている、起こりつつある前兆なのか……。

そして、その道中でドギの幼馴染みが魔物に襲われ、2人の決意はしだいに固まってゆく。幼馴染みとの会話は町の様子を知る上で貴重な情報源となり、妹のようだったエリナの近況はドギにはなんともいえぬ懐かしさを呼び起こすのだった。

2人は歩みを早め、ようやく町の入り口の門のところまでたどりつく。

『イース3』のオープニングはここから始まる。門番のガードナーさんにアドルを嬉しそうに紹介するドギ。次々と声を掛けてくれるなつかしい人たち。ドギには10年ぶりの故郷だ。そして、昔働いていたなつかしの宿屋にたどりついたところで、幼馴染みのエレナに再会する。

映画『寅さん』シリーズには、いつもマドンナと称して渥美清がほのかに恋心を抱く女性が出てくるが、『イース』シリーズもリリアの好評ぶりに刺激されたのか、まさかここにリリアを連れてくるわけにもいかない。ここでのリリア役がエレナというわけか。エレナも、リリアに負けず劣らずかわいいキャラクタに描かれている。

このレドモントの町を振り出しに、ティグレーの採石場、イルバーンズの遺跡、エルダーム山脈、そしてバレスタイン城へと物語の舞台は広がっていく。冒険を求めて彷徨人(WANDERER)となったアドルを待ち受ける運命とは？

この『イース3』は、前2作にもましてアクション要素の強いRPGとなっている。画面も上から見おろおす感じだったのが横から見るようになってずいぶんイメージが変わった。アクションの要素が強いから、得意な人はアクションゲーム感覚でどんどん進むことができるし、あんまり得意でない人も地道に経験値をかせいでいくことによって徐々に慣れていける親切なシステムになっている。また、ゲームの奥行きを持たせる効果として2重スクロールが多用され、渋い演出がちりばめられているところは明らかに前作を超えている。オープニングなどは、プレイヤーが自然な感覚でゲームに引き入れられるようにこのようなスタイルになったと思えるのだ。そして、豊富なアイテムとモンスターはゲームをいっそうもりあげる。それでは、まずはなつかしさいっぱいのレドモントの町を歩いてみるとしよう。

町は、たくさんの人たちでにぎわっている。1人1人に話を聞いて、しっかり情報集めをしよう。



↑ドギが昔働いていた宿屋だ。でもアドルは1度もここで寝ることはないだろう



↑なつかしい町に戻ってきたぞ。門番のガードナーさん、おひさしぶりい！



↑いろんな奇妙なうわさがたっているこの町。何か悪いことが起こらなきゃいいけどね

まずはレドモントの町で情報をわんさか集めよう

これから何度も御世話になるレドモントの町は、ドギのゆかりの町だ。前作に比べると、規模としてはあまり大きくないほう。お店は2軒。アイテムショップと武器屋。2軒とも親切なサービスをうりものにしている。

町はいろいろな人たちで活気づいている。みんなアドルが近づくと、こっちのほうに寄ってきて、熱心に話をしてくれる。町の人が提供してくれる情報は、あとあとの冒険の手助けになるに違いないから、メモをとるなりしておこう。町の奥へ入っていくと、おばあさんが1人で暖炉のそばでたたずんでいる。寂しそう。息子が落盤事故で行方不明だって。老後の1人暮らしは寂しいよアイーダおばあさん。おばあさんの家の隣は空き家だ。そのうち誰か住むだろうから、ちょくちょく覗いてみるとしよう。

そしてドギが昔働いていたという宿屋。ドギは用のないかぎりここにいるから話をしたいときには戻ってこよう。宿屋といっても他のゲームと違って体力を回復するために眠らせてはもらえない。せっかくベットもあるのにすこしは眠らせてくれー／

町中での情報収集が1段落したら出口にいってみよう。採石場から帰ってきた坑夫がいるはずだ。きっと中のようすを教えてくれるはずだぞっ／





↑アイーダおばあさんは息子のボブを採石場でなくしたらしい。でも本当に死んじゃったのかな？　とにかく話を聞いてみよう



↑町に坑夫が逃げ帰ってきた。採石場の中でモンスターに襲われたんだそうだ。町の実力者、エドガーさんの安否が心配されるところだ



↑エドガーさんは落盤事故で採石場の中だ。助けて来たらあとでじっくりと悩みを打ち明けてもらおうじゃありませんか



↑こんなときにゃ冒険家の血が騒ぐってなもんだ。まかしてくんな！　とアドルが言ったかどうかはさだかではないんだが、とにかく助けよう

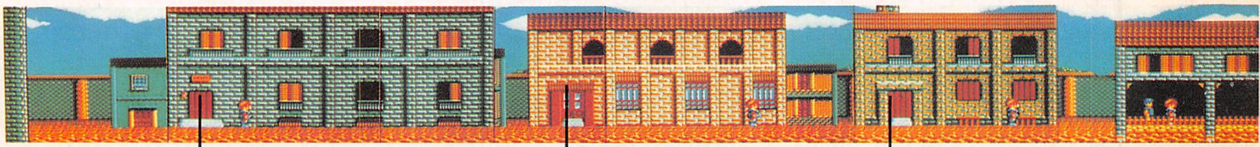


↑悪だくみを考えているバレスタイン城の連中が、レドモントの町の人を監視しているらしいのだが、いったいなにをたくらんでいるのか？



↑そうか、アドルのほかにも仲間がいるってことだね。これはこころ強い。それでは、エドガーさんを捜しにいってきまーす！

アドルが案内するレドモントの町ショッピングガイド

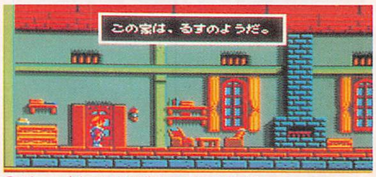


宿　屋



↑いくら泊まってもムダ。ドギのなじみの店なのにね

留　守　宅



↑ゲーム中盤までは誰もいないけれど……

ボ　ブ　の　家



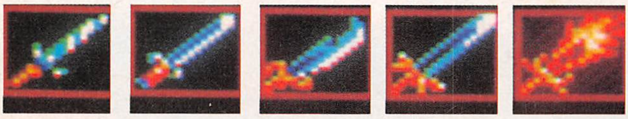
↑主のボブは落盤事故で行方不明。おばあさんがいる

イースⅢアイテムマニュアル

ゲーム中でもＩキーを押すことで自分が持っている武器や装備している防具、アイテムなどがグラフィックで表示される。Ｘキーで解除

武器・防具

まず戦いに不可欠なのがここにあげた武器・防具だ。いかにアドルでもこれなしでモンスターと渡り合うことはできないのだから



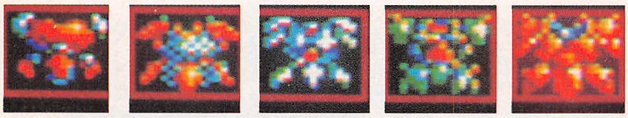
SHORT SWORD
最初に買える剣だ。デュラーンを倒すまでごやっかいになる

LONG SWORD
最初のボス、デュラーンを倒すことによってにはいる剣

BROAD SWORD
お金をばんばんためて早く武器屋へ行こう。8000ゴールド

BANDED SLAYER
師匠にもらえるありがたい武器。これで敵なんてバッサバサ

FLAME SWORD
炎でできている剣。絶大な威力を発揮する。必ず見つけよう



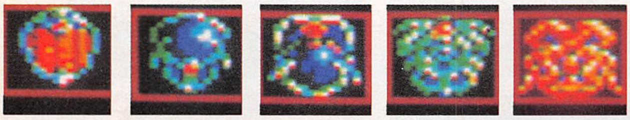
LEATHER ARMOR
皮の鎧。軽くて動きやすいがいかんせん防御力は低い

CHAIN MAIL
早くこれにかえたいもんだ。1500ゴールドまでがまんがまん

PLATE MAIL
どっかにおっこってないかなーなんて探してると見つかるよ

BANDED ARMOR
どひゃ、12000ゴールドもすんの？　高すぎると思います

BATTLE ARMOR
ちょっとやそっとでは大ダメージをくわない真っ赤な鎧



WOOD SHIELD
木作りの盾は軽くて丈夫。でもやっぱり木なのよねえ

SMALL SHIELD
これは○○の中でもらえると思ったんだけれどもなあ

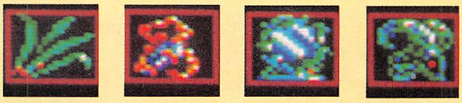
LARGE SHIELD
なんでも鉄でつくられているんだそうだ。とても重そう

BANDED SHIELD
武器屋で２番目に高い品物がこれだ。模様が複雑な感じ

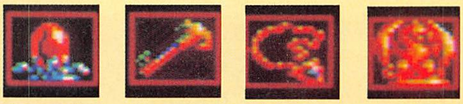
BATTLE SHIELD
この盾はあらゆる攻撃をしっかり受け止めてくれるのだ

アイテム

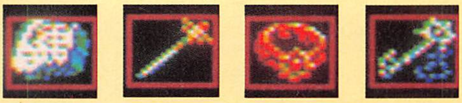
種類がたくさんあるので、名前と形を一致させておこう。それにしても多いなあ



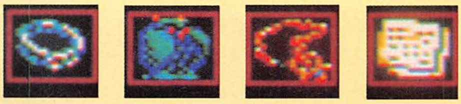
薬草　プロシアの秘薬　幻影の鏡　アミュレット



鬼火の宝珠　倉庫の鍵　ボブのペンダント　火竜の守り



使命の石板　審判の杖　真紅の腕輪　地下牢の鍵



青き腕輪　夜魔の石像　精霊の首飾り　エドガーの手紙



輝きの水晶

アイテムには使うとなくなってしまうものがある。薬草、プロシアの秘薬などがそうだ。基本的に１つだけしか持てないことになっているから大切にね。なくなったら即、補充に町に帰ろう。

リング

リングは前２作でもお馴染みだね。いわゆる武器や防具、それにアイテムの補助的な役割を持ち、使うとリングパワーを消費する



POWER RING
これを装備すると攻撃能力が２倍にアップするようになる

SHIELD RING
いちばん頼りになるリング。防御力が倍増する作用を持つ

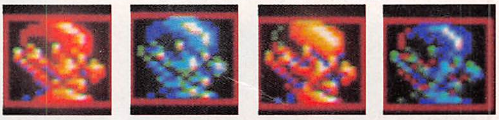
TIMER RING
まわりのモンスターの動きが半分のスピードになってしまう

HEAL RING
傷ついた体を癒(いや)してくれるリング。必需品なのよね。

PROTECT RING
いかなる攻撃にも耐えられる。リングパワーをかなり使う

彫像

その昔、１人の勇者が、４つの彫像を使って、悪の権化をどこかに封じ込めたという。その勇者とは……



落日の彫像
ティグレーの採石場で手に入る彫像。エルフェールが守る

星月の彫像
イルバーンズの遺跡にあると言われている青い彫像

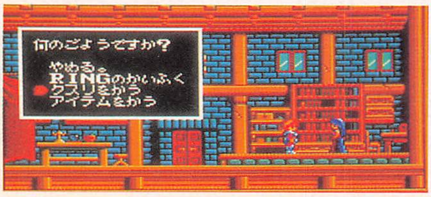
白光の彫像
３番目に見つけられる彫像だが、どこに眠っているのやら

暗黒の彫像
エルダーム山脈に住むドギの師匠がありかのヒントをくれる

するすると２重スクロールする背景を見ながら、町の中を探索してみよう。右から武器屋、アイテムショップ、ボブの家、留守宅、宿屋に入ることができる。ほかにも道端で人と話もできる。くまなく回って、情報を集めようぜ！

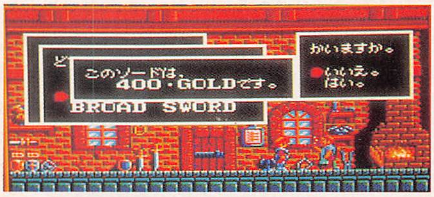


アイテムショップ　シンシア



薬草の販売、アイテムの製造直販、リングパワーの回復などなど、いろんなことをいたしております（これじゃ物干竿屋だって）

アドニスの武器屋



剣２種、鎧３種、盾３種を扱う。店主はなかなか気立てはよいが商売に関してはしっかりしている。すこしくらいまけろよなあ

ティグレーの採石場



第1の冒険だ。ここはレドモントの町の人々の生活を支える大変重要な場所。そんな場所にモンスターがうろついているというのは、ちょっとおかしい。きっとなにか深ーい理由があるに違いない。しかも、町の実力者エドガーさんがけがをして帰れないというからさあ大変。でも、なんでそんな偉い人が採石場なんかに入ったんだろ。

この冒険ではまずアクションの基本技を修得しよう。といっても、ほとんどの技は普通にゲームをしてるだけで自然と身についてしまうようだから、あんまり肩に力を入れなくてもよさそう。基本的な技は、まとめて11ページ下のコラムにしてみたので参考にしてほしい。これだけ覚えれば後のゲーム運びはすいすーいだかんね。しっかり覚えてねっ！

さあエドガーさんを救けに行くぞ！



➡いざ、出陣！と気合を入れるアドルなのだ



⬅しゃきしゃきとザコをやっつけてレベルアップをめざせ



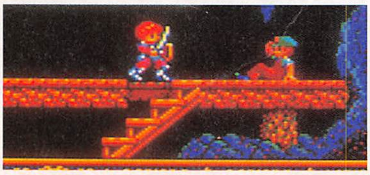
⬆縦穴に入るのはかなり慣れてからのほうがいい



➡おおっと、これはアイーダおばあさんの息子さんのものだ



⬆いやー、届けてあげたら喜んでもらえたみたいだね。おまけにプレゼントももらえたし



⬆デューイさんから詳しい話を聞いてみよう。デューイさんけがをしているから、代わりに倉庫にいって剣をとってこよう。倉庫があんなとこにあるなんて気がつかなかったなあ

デュラーン登場！





⬆デュラーンはとにかく派手！　なやつだ。最大5体に分身するし、画面中に剣は飛び回るしでもう大騒ぎ

みんなから「エドガーさん」としたわれている人

エドガーさんを助けるには、まずレベルアップに努めよう。初めのボス、デュラーンのところにいくころにはレベル3はほしいところ。とりあえずレベルアップに努めていれば、自然と基本の動きはマスターできるはず。

ザコキャラとの戦いは、地形を利用したりしながら効率良く。縦穴のところでうまく戦えるようになったら、まず左下の小さな洞窟にいってみよう。そこにパワーリングがあるはずだ。そこから、右の下の長い洞窟に入っていくと、やがてペンダントが見つかるはず。これはレドモントの町に住むアイーダおばあさんの息子、ボブのものなのだ。だから、おばあさんのところに持って帰ってあげよう。おばあさんはお礼にリングをくれるはずだ。これがシールドリング。防御力が上がって戦闘ががぜん有利になるのでなるべく早くもらいにいきたいところ。

「エドガーさんを助けてくれ！」という坑夫から倉庫の鍵をもらったら、いよいよ最初のボス、デュラーンだ。こいつは、5体に分身して3方向に火の弾を吐いてきてうるさい上に、画面上や横から剣が勝手にどっと攻撃してきたりして、もうれつにウットウシイ。この際、どちらかの攻撃は無視して、速攻でデュラーンを攻めたい。そのためには、最低限シールドリングの他に薬草は装備してほしいな。

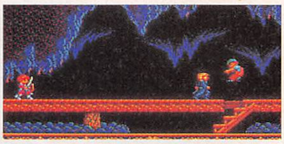
下にふせながら左右に動いて本体を攻撃すれば、剣の攻撃のダメージを少なくできる。辛抱していれば絶対に勝てる！



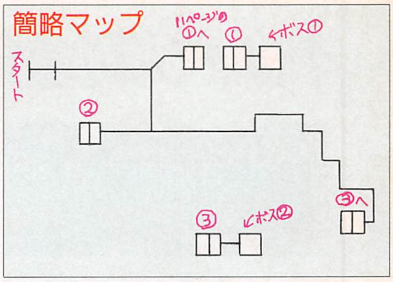
⬆あ、剣が落ちてきた



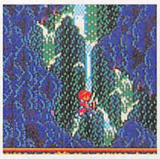
⬆ロングソードだ!



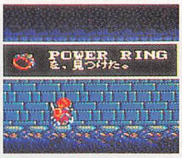
⬆バコ! 抗夫がけっとばされた



デュラーンを倒すとロングソードがもらえる。これがないと次のボス、エルフェールを倒しに行くことができない。スフィンクスみたいなエルフェールを倒す前にもレベルアップは必要なのだ。なぜかは1度セーブしてからエルフェールの部屋にいってみるといい。ウェーブ状のビーム攻撃と鬼のようなサンダー攻撃にあっという間にやられてしまうはず。このゲームの前半の難所といってもいいところ。まずはレベル5を目標に採石場の中を歩き回ろう。傷ついたら外に出て、体力を回復してまたトライ。レベル5になったら、まずしっかりセーブしてエルフェールのところへ行こう。このくらい成長したアドルなら、こいつは倒せるぞ。いちばん過激な倒し方はエルフェールの台座の下でサンダーの爆発をよけながらジャンプしながら切りまくるという方法だ。シールドリングと薬草は必需品なのはいうまでもない。爆発がいちばん受けるダメージが大きいから、通常の攻撃は当たっても、爆発だけはなんとかよけるようにしたい。そうしない限り、勝利はないっ!



⬆滝の中を降りてゆく



⬆これを忘れちゃダメ

エルフェールは強いぞ!





⬅ドカーンと激しいサンダー攻撃。ものすごい爆煙が起こる

最初の彫像と、変なやつ登場なのだっ!

エルフェールを倒すと、おおーっこりゃ何だ? と驚き方がクサイが「落日の彫像」がもらえる。部屋を出ると、エドガーさん。探したのよっ、とにじりよろうとすると、さっきの坑夫を蹴っ飛ばした変な奴が再度登場。「私に向かって来るとはいい度胸だ」だと。こっちのセリフだー! とかいいながらぶっ殺してあげたいところだが、捨てゼリフを残して消えてしまう。うーん変なヤツだ。まさか「私はただの変なヤツ」なんて落ちじゃないだろうな。



⬆やっとでてきた。みなさん御苦労さまです

ビデオにCDに!『イース』のマルチメディアぶりなの!

『イース』がついにアニメビデオになった。アドルの生い立ちから、どこまで行くかは知らないが、『イース』『イース2』の世界がドラマチックに展開されてしまうわけである。

各巻25分で、全7巻という大作ぶりは、これまでのゲームのビデオ化にはなかったもの。もちろん、日本ファルコムの『イース』開発チームが、企画段階から脚本、美術、音楽、キャラメイキングまで全面協力。みなぎる力の入れようだーっ!

とりあえず、第1巻の「序章」が11月21日に、第2巻の「ハダルの章が12月21日に発売される。第1巻は、アドルの生い立ちからアドルのエステリアへの到着、クラーゼの病院、サラとの出会い、といった『イース』の冒頭部分。

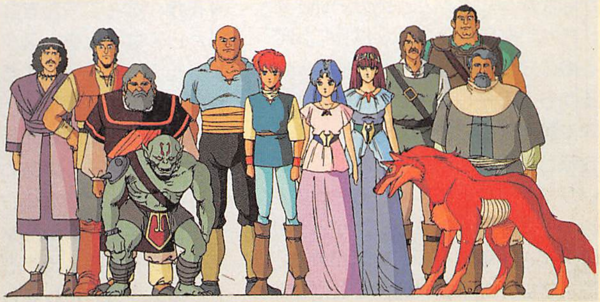
第2巻は、セピック村へ向かうところから、神殿内部まで、といった内容。各巻4,500円と、かなり買いやすい価格も魅力のひとつ。『イース』ファンならちょっと見逃せない内容だね。

GMのほうも好調。新居昭乃ちゃんらのボーカルによるボーカルバージョン『THE VOCAL from YS』は4曲入り。『PLUS MIX VERSION YS, YSII, SORCERIAN & STAR TRADER』は、4つのゲームから5曲を抜粋、おなじみ難波弘之氏がアレンジを手がけ、パソコンのオリジナルサウンドと生楽器をミキシングしたものだ。CDは各1,545円、テープ1,133円だ。

ゲーム以外でも楽しみのたーくさんあるファルコムのゲーム群なのだ。さっすがだなー。







イルバーンズの遺跡









➡かわいい女の子の悲劇を黙って見ているアドルじゃない。さっそくイルバーンズの遺跡に行ってみよう

エレナ、身の上を語る！

町に戻ってきてみると、ドギが呼んでいるようなので、宿屋に戻ってみる。そこにはオープニングで会ったエレナもいる。ぎゃ！　二人で何やってたんだ！　などとかんぐらないように。かわいーなあ、なんてうつつを抜かしつつ話を聞くと、町の神父ピエールさん(この町に教会ってあったか？)が遺跡に彫像の調査にいったまま帰ってこないらしいのだ。

それから、エレナの兄チェスター(こいつがティグレーの採石場にいた、いやなヤツだ)も遺跡の中でなにやら暗躍しているらしい。女の子の悲しいお話に涙したアドルはそそくさと出掛ける準備を始めた。

なにはともあれ、イルバーンズの遺跡に直行だ！　薬草を忘れるなよ。ここはティグレーの採石場とは違って中に入ったり外に出たりとめまぐるしく展開の変わる。めんどうがらずにね。

景観はGOOD！　の一語。特に外に出て、鳥がたくさん舞っている中を進んで行くところなんかがおすすめ。遠くに山を臨みながら戦うなんてのもなかなかかっこよくて、気分いい。だが、きれいな風景とはうらはらに出てくる敵の攻撃もすばやく激しくなっているからこころしてかかるように。火の球に顔が付いたイーガーとか、ムチで攻撃してくるシグルトなど、アクの強いザコがうじゃうじゃいるぞ。こんなやつらにはジャンプして上からグサッの下突きを基本とした攻撃が有効だ。

ここではかなり経験値がかせげるからレベルアップに励みたい。レベルは



⬆遠くの火山が火を吹き、鳥が寂しげに飛んでいる。雄大な中にも不気味さが漂う光景だ

上げすぎかな？　なんてくらいまで上げておくとあとあと楽になるからね。お金も自然とたまることになるから、ちょこちょこ町に戻って装備を充実させよう。遺跡の中には、宝箱があるぞ。中身は取ってからのお楽しみ。ダメージが増えてきたら、いさぎよく外に出て体力の回復を待つことも忘れずに。

しばらく進むと、大広間のようなちょっと今までとイメージの違う場所に出てきた。なにかあるかもしれないなどと新しい展開に期待しつつ前進すると、なにやら下のほうから話声が聞こえてきた……。どうやらピエール神父とチェスターがいるらしい。神父が詰問されているみたいだ。ここからは自分で操作できない。シナリオが勝手に進んでいくわけ。しばらく話を聞いてみるか、なんてのんきなことを考えていたら、なんとチェスターにばれてしまった！　くそー、するどいヤツだ。やばいっ、逃げよう！　と思っても後の祭。前と後ろから衛兵にはさみうちにされて、アドルはあわれにも捕まってしまった。どうなっちゃうんだろ？

ここは強制的にシーンが変わり、階下のようすを映し出すと、なんと縦にも2重スクロールしてしまう。これにはびっくりすること間違いなしだ。

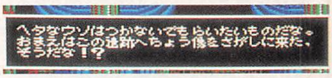


⬆テンポよくスパスパとやっつければ、こんなにおいしい敵はいない。気軽にいこうぜ



⬆遺跡の奥深くで何者かの声が……。アドルが耳をすませると、それはチェスターの声だった





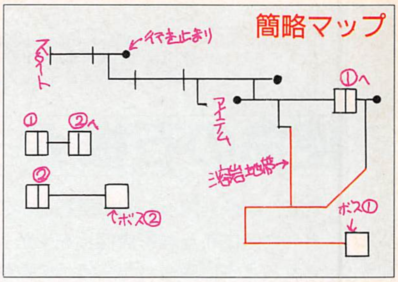


⬅静かにしていたのに、ばれてしまった



⬆うえーん、逃げられないよー。ここはおとなしくつかまるしかなさそうだ。くやしいなあ。でも、なんでばれたんだろうか？

おまえ、それはないだろーっ!?



場面が変わるとなんと後ろには脈々と流れる溶岩の滝／　ここから落ちて帰ってきた者はいないという。絶体絶命のアドル。しかし非情なチェスターにけとばされて奈落の底へまっさかさまに落とされてしまう……。ちくしょう、覚えてやがれ／　落ちたところはまさに火炎地獄。バックには溶岩が吹き出し、火の鳥や火の玉がアドルに襲いかかってくる。落ちて来たところからは上がっていけないみたいだし、ほかをあたってみようか。



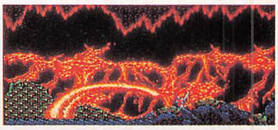
↑あらー、けっとばされてしまった



↑どこを見ても火・火・火だらけ



↑これはありがたい薬草だ。ラッキー



↑ひいい、火柱が追っ掛けてくるよー

イカス火の竜との戦いに、激サイティング!

しかしあまりにもザコにダメージを受けすぎるなあ。いちいちよけてられないよ。剣で切れない溶岩とかやっかいなのばっかり。溶岩の池みたいなところに来たけど、中に入ると死んじゃいそう。いったんセーブして入ってみよう。ギャー、やっぱりやめときゃ良かった。ぐすん。

脱出口を探して歩いていると、突然後ろから水平火柱プロミネンスが追い掛けてくる／　あわわ／　しばらく逃げるとBGMが変わった。

火竜ギルンだ。火の竜のキャラはけっこう多いけど、これはその中でもなかなかイカス。急いでシールドリングを装備。ギルンはアドルを追い回してくる。岩場の高いところにおびきよせて、頭を下突きで攻撃するといいみたい。ちなみに胴体には触れても大丈夫なので、逃げるときの参考に。

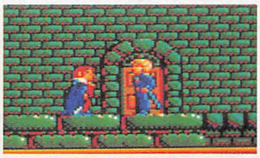
溶岩の池の先は、上に行ける階段があった。やっほー／　おや、なぜエレナがここに？　2人で話をしていると誰かがこっちに向かってくる。またあのチェスターだ。ん？　だれだあの男は。話からするとピエール神父はバレスタイン城に連行されたらしい。

エレナを町に帰らせ、奥に進むとまたBGMがチェンジ。今度は火の鳥のギャルバだ。ギャルバは3方向に火を吐く怖いドラゴン風デカキャラ。今度はギルンのときとは反対に、低い窪地で待って、調子に乗って近づいて来たところを高い所にさっとととびのって攻撃。目が光ると攻撃の合図。逃げろ／

この2匹の火のデカキャラを倒したら新しい展開が待ってるぞっ／

→あれまあ、こんなあぶないところにどうやってきたの。まさかあのモンスターたちを倒したわけ？





←ピエールさんは捕まってしまったみたいだ。バレスタイン城ってどこにあるのかな。気になる

→ここは、どうやら扉のようだけど。開けてみようかナ。まったくよく気のつく女の子ですね



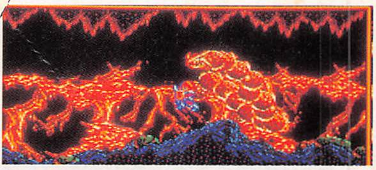


←扉を抜けると、溶岩の中を通路が通っている。さっそく行ってみるべし。この先にボスが……

ギルンは炎のドラゴンだ／

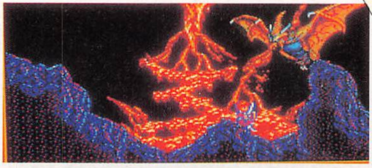


↑ギルンはアドルを追いかけまわしてくる。油断をしているとどんどんやられてしまうぞ。



↑頭以外は当たっても平気だ。ヤツの行動をよく見て裏をかいて下付きをくらわせろ／

ギャルバには用心しろ／



↑どことなくプテラノドンを思わせる風貌をもつギャルバ。うまくおびき出してやっつけろ

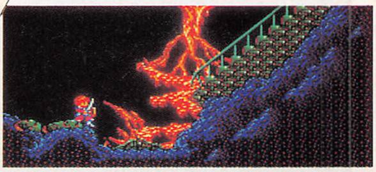


↑お願いだから、火を吐かないでちょうだいよー。キラっと目が輝いたら火を吐く合図だ

これでつぎに進めるぞ



↑ギルンを倒すと火竜の守りがもらえる。これをあるところに持っていけば、あれあれ……



↑これで溶岩地帯を抜け出せたぞっ／　さあ、チェスターめ、今に見てろぉ／

ふたたびティグレーの採石場へ

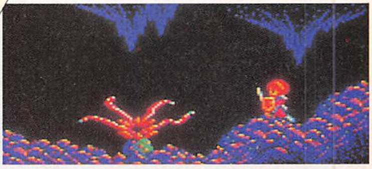
使命の石板！　登場！

さて、彫像を持って町に戻ると、エドガーさんに新たな彫像探しを手伝ってくれるように頼まれた。4つの彫像がないとなんだかとっても困るらしいのだ。ここでやらなきゃ男がすたるってなもんで、またまたティグレーの採石場に舞い戻ることになった。そういえば、前の冒険で鍵の合わない扉があったんだよね。パワーリングの入っていた宝箱のあった横穴だ。あそこがうさんくさいので、ということで……。

もうへのかっぱになってしまったなつかしいザコたちをばさばさと切り刻んでいくと、入れなかった扉に入れるようになっているぞ。これってみんなで開けたのかな。パワフルだなあ、この町の人たち。中に入ってみると今までの通路と出てくるモンスターがちょっと違う。動きがトリッキーなくせものがそろっている。あせってつっこまずに立ち止まってびしばしと攻撃すればダメージを極力減らすことができる。

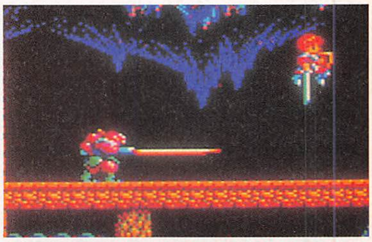
やっと奥へ入れるぞ！





前来たときは鍵が合わなくて入れなかった扉が入れるようになっている。気になってたのよね

下に降りてみると、町の坑夫のみなさんが何やら困っているようす。なんでも、宝箱が開かないんだそうだ。どれどれと近寄ってみると、アドルの持っていた彫像に箱が反応してふたが開いた！　中から使命の石板を取り出して読んでみよう。と、突然の地震がアドルたちに襲いかかった。幸い落盤は起こらなかったようだ。さて続きを読んでみると、そこには1人の勇者が描かれていた。彼は4つの彫像を使って、ガルバランという化物を封印したというのだ。うーん、なんか昔のゲーム思い出すなー。



こいつの突きは鋭いぞ。落ち着いて動きを見るのだ



彫像に反応して宝箱のふたが開いた。中からは……

輝く水晶は誰のため？

この採石場の道中にも、宝箱が2か所で見つかる。1つはプレートメイル。これは強力だ。ちょっとやそっとでは大ダメージをくわないですみそうだ。2つめは輝きの水晶だ。豪華な飾りが付いていてきれい。でも、何の役にたつのだろうか？　そういえば、何度か傷ついて薬草を買いに戻ったとき、道具屋のおねえさんが何かぼやいていたなあ。持って行ってみるか。

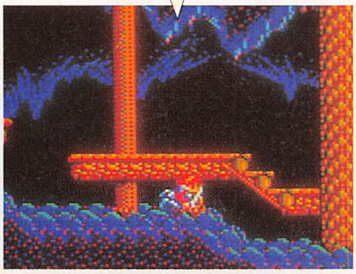


プレートメイルを見つけたぞ。さっそく装備しよう



下に降りるときは常に剣を振っておけば安心だ

下をくぐって！



ここの床の下を通って新たな洞窟へ行こう

ここがキーポイントだったのね

洞窟の途中で、宝箱の中に輝きの水晶を見つけたアドルだが、この水晶はもっているだけではあまり役にたちそうもない。というわけでどうしたらいいのかを考えるのだが、何度も薬草を買いに行った人は、アイテムショップのおねえさんが言っていたことを思い出してほしい。そう、これをもとでに、プロシアの秘薬が作られるのだ。これは、1000ゴールドもする高価なアイテムだが、冒険の後半では必ず必要になるものだから、頑張って手に入れよう。あと、精霊の首飾りも50000ゴールドとかなり高い買い物になるが、これは腕に自信のある人なら、買わなくてもいいだろうと思う。うまくなれば、お金ならすぐにたまるしね。



豪華な輝きの水晶。何の役にたつのかしらん



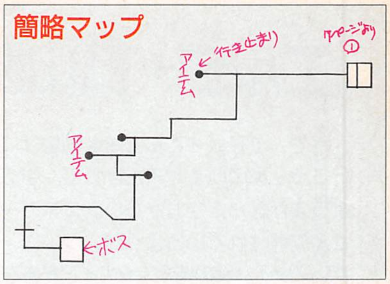
おねえさんが喜んでくれたぞ。ラッキー！

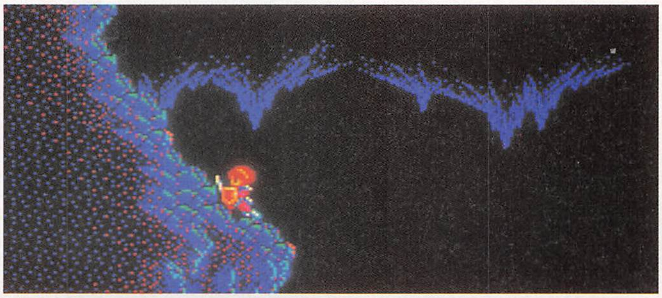
隠れた入口を探し出せっ！

とりあえず、おばさんは後回しにして、さらに下層部へと降りてゆくアドル。あいかわず敵の攻撃は激しい。でもプレートメイルのおかげでかなり楽になったなあ。いちばん下まで降りたはずだけど、なぜかいるのはザコばかり。ううんおかしい。戻ってみようかと思いはじめたところで大発見／　よくよく見てみると、左の壁の上になんとか１人分の上がれるスペースを見つけた。でもただジャンプしただけじゃとどかない。ちょっと高いところから飛び降りてみる。ただ飛び降りるだけじゃだめ。飛んだら横にキーを押す。これでジャンプを大きくできるのだ。

意気ごんでずんずん進むと、どうやらボスの登場みたい。怖いよー、とかいってると、生命のやどった鉱石、イスターシバの御登場。本体はいちばん奥の水晶のようなやつで、こいつはなんにも攻撃してこないが、代わりに結晶が正面から飛んでくる。これはふせればよけられるから大丈夫。５個結晶が出たら、一休みなので、すばやく本体に特攻をしかけるのだ。本体に重なって下突きができれば、わりと簡単にやっつけられるはず。

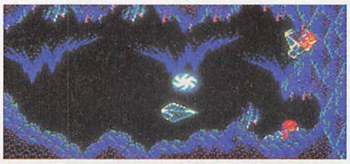
だが、本体の周りをくるくる回る赤や青の渦巻状のキャラには要注意／　触れるとワープさせられてしまうぞ。





ここまでくるのが大変なところ。ジャンプのタイミングを研究してみよう。この先にイスターシバが待ち受けている

イスターシバはいっきに倒せ！



飛んでくる水晶をよけながら本体に近づこう。くれぐれも渦巻に触れないように



渦巻に触れてしまっても、あわてないこと。あせって前につっこもうとするのは相手の思うつぼだ

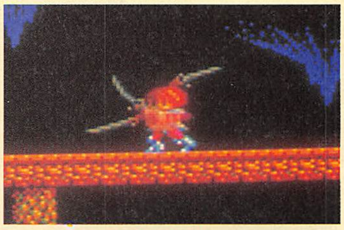
ここらでアクションの基本を復習だ

アクション性が前面にうちだされたイース３では、アドルの剣さばきは、どんなアイテムよりも身を守るための最重要課題なのだ。Ｘキーを押しっぱなしにするだけでも戦えるけれど、それにテンキーの操作を加えることで、アドルの動きのバリエーションはかなり広がるはずだ。まずは、しゃがみながら突くことを覚えてもらいたい。最初の採石場ではこれを使ってグルムスを倒そう。

慣れてきたら今度は下突きだ。これとジャンプを組み合わせることによって、大抵の敵は倒せるにちがいない。しかし、タイミングをはずすと痛い目にあうのは覚悟しておいてもらいたい。いつでも落ち着きを失わないように／

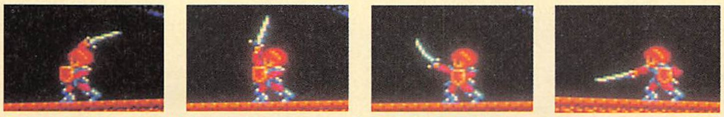
もっと頭を使えば、階段などで敵の攻撃のとどかないところからつんつん突いたりできる。ま、戦いはできるだけラクして経験値をゴソッとかせごうってこと。

乱れ切り！



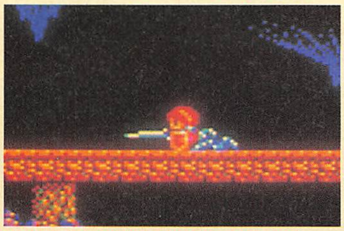
キーを押しっぱなしにしてもいい

剣さばきの、これが極意だ！



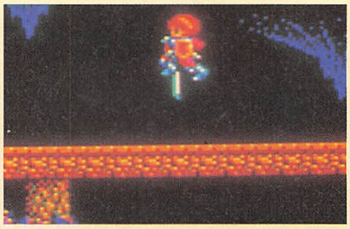
アドルの上段からくり出す一撃の連続ショット。すべての基本はこの形に集約されて……いないかあ

応用編、伏せ突き！



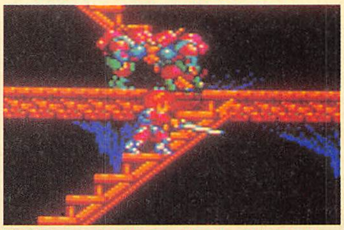
足元をうろつく敵もこれでやっつけられる

下突き！



いちばんよく使われる。与えるダメージも大

頭を使え、頭を！



階段をうまくつかって、楽にザコを倒すのだ



エルダーム山脈

さて、エドガーさんに彫像を届けに行こうと家の前まで来たけれど、中のようすがなんだかおかしい。エドガーさんは脅されているようだ。ついに、バレスタイン城の城主マクガイアが直々にエドガーさんに圧力をかけてきたのだ。エドガーさんはマクガイアの要求をつっぱねたけれど、彼の「その態度を変えないのなら、街の人間がどうなるかわからないと思え／」という言葉、凄味はないが気にはなる。

城主マクガイア登場！

エドガーさんの話では、新たな彫像のありかはエルダーム山脈に住む男が知っているという。手紙をもらっていざ出発／　雄大な山の風景のまっただ中を抜け、洞窟のモンスターたちをかわして外に出ると、根雪の残る林の中に1件の山小屋が……。と、開いた扉の中から出てきたのはドギ。そして、もう1人は誰だ？　そうか、この人がドギの師匠、エドガーさんのいっていた彫像のことを知っている人なんだね。小屋に入れてもらって彫像のことを聞いてみると、この山脈にも彫像があるとのこと。そしてその封印には山頂に住んでいる化物がなにか関係しているということだ。そして、師匠は強力な剣バンデッドスレイヤーをアドルに渡し、傷ついた体を癒(いや)してくれるのだ。ああ、ありがたい。

山に生息(せいそく)しているモンスターたちは個性派だね。下からもこもこっとあらわれるイルバや蜂のジゲル、もっとも印象的なのがドカッと岩をはじきながら飛び出すハリック。みんな高い経験値やゴールドを持つだけあって手を焼くかもしれないが、慣れればこんなにおいしいものもない。ぱこぱこと倒してレベルを最大までひき上げよう。そうすれば、頂上にいるボス、リガティはたやすく倒せる。動きは遺跡のギャルバに似ていて、下に引きつけて攻撃というパターンがここでも使える。

リガティをやっつけたら、道中にあった大きな像のところに戻ってみよう。新しい道が開けるはず。



カルバランの復活を止めなければ。がんばれアドル



さて、この手紙を持って、エルダーム山脈に直行だ



この洞窟は経験値かせぎの絶好の場所だ



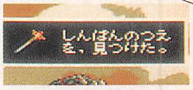


このやさしいお言葉。涙がうるうる出てしまって止まらないアドルでありました（一部脚色あり）



リガティ弱い！

この方は、はっきりいって弱いです。ギャルバと同じ感じで手軽に倒すことができます

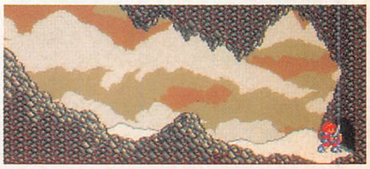




審判のつえのおかげで雪がなくなっていくのだ



わーい山登りだ、などとはしゃいではいけません。世の中そんなに甘くはないのですから



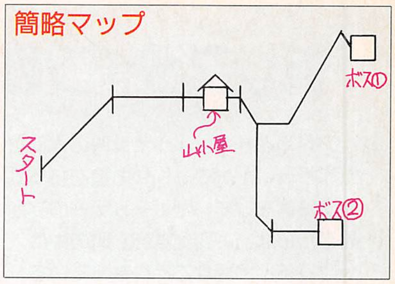
さて、2番目のボス、ギルディアスに挑戦だ

しつこいチェスターとお話しましょ!

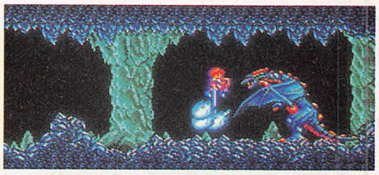
新しくできた道を通っていくと洞窟に入っていく。前の洞窟よりも地形が険しくなっているぞ。そろそろ大物の登場かな? ピンポーン、大当たり/ ブルードラゴン、ギルディアスが冷気のブレスで攻撃をしかけてくる。このブレスをまともに受けると結構痛いので、できるかぎりかわしたい。シールドリングを装着してから、一気に頭めがけて剣を振りつつ突進。そして顔に当たるように垂直ジャンプをしながら下突きをくり返せば、ぎりぎりで撃破できる。でも、あまり胴体に近寄ると、ブレスよりもっと痛い尻尾の一撃があるから用心だ。

やっとの思いでギルディアスを倒し町に帰ろうとしたところへ、チェスターがまたやってきた。しつこいやっちゃなー。彫像を渡せと要求するチェスター。が、そのときまたしても地震が。2人は洞窟内に閉じこめられてしまったのだ。そこで、チェスターはその本心を初めて覗かせることになる。以前住んでいた町のこと。仲間がマクガイア城主に皆殺しにあったこと。生き残ったのは自分と妹のエレナだけだったこと。そして、なぜかたきのマクガイア城主に仕えているかも……。なるほど、そんな複雑な事情があったとはね。しかし、そのためにガルバランを復活させてしまうのはあまりにも危険が大きすぎはしないか? 議論する2人の前にドギがあらわれた。前2作でもここぞというときに頼りになるヤツだったけれど、今度もまたおせわになりまーす/ さあ、町に戻るとしよう。

町では、あっとオドロク新展開が待ちかまえているぞっ/




↑ギルディアスのブレス攻撃はすさまじい


↑ブレスをよけて頭を下突きで攻撃だ



↑うぬぬ、また出たいやなやつ。あっかんべーだ



↑げげ、出口がなくなってしまったのだ



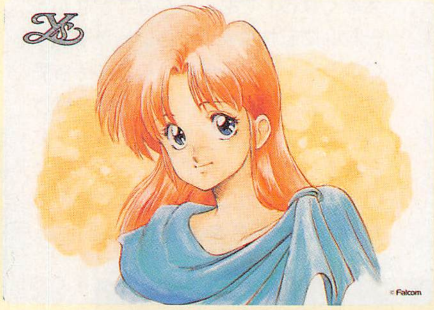
↑あ、ドギが助けにきてくれたぞ

ファルコムイースⅢグッズ大々々々々プレゼント!

太っ腹/ の日本ファルコムから、ファルコムグッズの大々々々々プレゼントなのだっ/ うれしいやんか。下敷き2枚と、ステッカー1枚、3.5インチのディスクホルダー2種、各々10枚ずつ読者のみんなにプレゼントしちゃうのだっ/

申し込み方法は、官製ハガキに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、〒105 東京都港区新橋4-10-7 TIM MSX・FAN編集部『イースⅢ大々々々々プレゼントコーナー』係

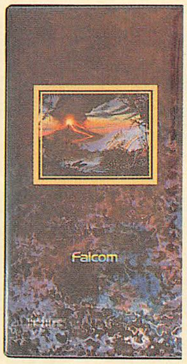
締切りは10月20日だ/ よろしく/

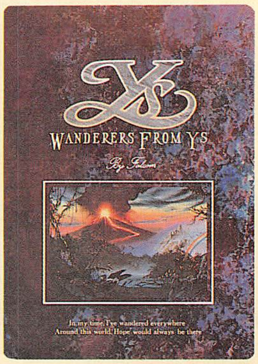






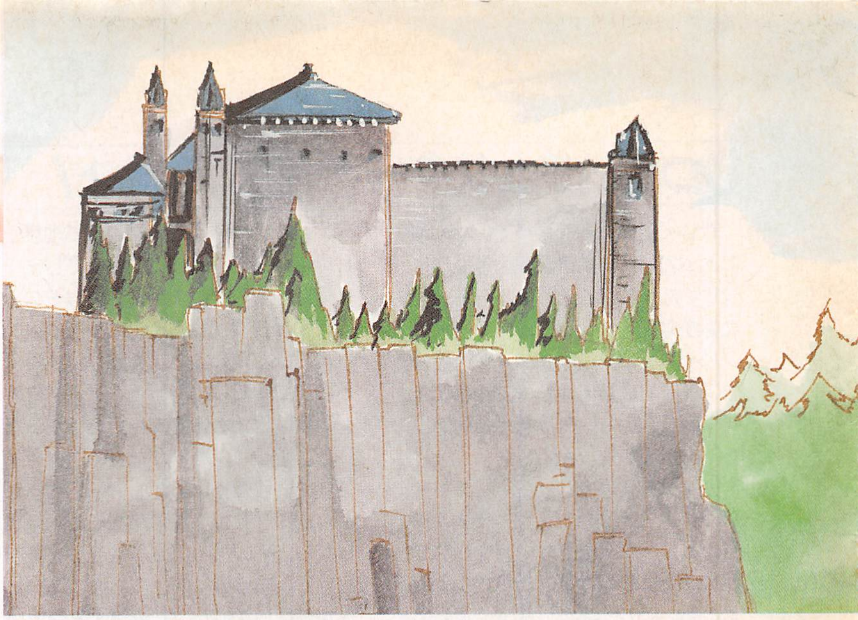






↑↗↗おなじみのファルコムグッズの最新モデルたちがずらり。どれが君のお気に入りかな? 全部欲しいという人もいるだろうけどディスクホルダーやリリアの下敷きなんか特に競争率高そうだなあ(みんな好きなんだから、もー)。振るって応募してくださいな。幸運にも当たった人は、大事に使ってやってちょうだいね。惜しくももらいそこねた人には、お金を出して買うというテもあるぞ

バレスタイン城



アドルとドギはようやく町の入口にたどり着いた。でもいつも槍を持って町の警備をしていたガードナーの姿が見当たらない。変だなあ。町の中に入ってみると大変なことになっている。バレスタイン城の連中に、町の人たちが人質として連行されていってしまったらしい。あのときの城主の脅しは、はったりではなかったみたい。ドギが師匠から預かっていたヒールリングを受け取ったら、城に急行だ。

リリアの伝統！ エレナの無鉄砲！

城の近くまで来ると、遠くに女の子の姿が。あれはエレナじゃないか／　本当に気の強い子だ。待っているようにさとして、いざ城内へ突入／

城の内部は入り組んだ構造になっていて、同じところを行ったり来たりともうヘトヘト。しかも、さまざまなワナが待ち構えている。床から突然突き上げてくる槍や道端に立っている鎧にはご注意を。うかつに槍に触れると被害は甚大だ。おまけに、ザコもかなりするどい攻撃をしてくるぞ。角をもったよろい騎士、ハルファイガーなどは剣を振っているときしかダメージを与えられないときている。こんなやつらばかりだから、同時に攻撃を受けたらもう大変。

これはもうまるっきりアクションゲーム。このノリに波長が合うまでは、かなり苦労する。レベルも行き着くところまでいったみたいだし。あとは、自分の技術で戦うだけだ。特に後半はダメージがたたってリングポイントが足りなくなりがち。できるだけアイテムの使用をセーブしていかないと、肝心のボスとの戦闘のときにリングが使えなくなる。でも、そんなことなんかきれいに忘れちゃうくらいドラマチックなシーンがこの先にたくさん待ち受けている。画面に大きく映える夕焼けの中を勇ましくアドルが進むシーンなんかをじっくりと見てほしいなあ。「このシーンのために僕はここまで来たんだ」という充実感をきっと感じるはず。



↑ガードナーがいない。これはなにかあるみたいだ。いってみよう



↑みんな連れていかれてしまった



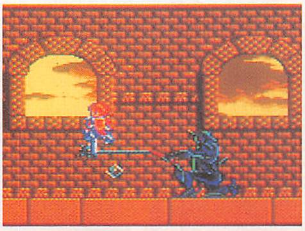
↑これがあれば長い旅も大丈夫だ

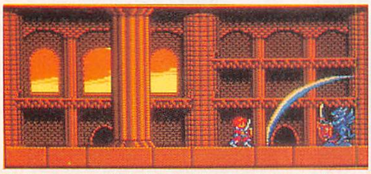


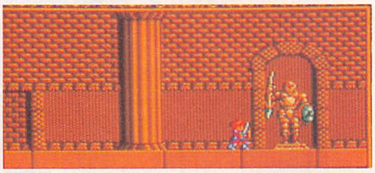
↑あれに見えるはバレスタイン城。さあ、いくぞ／　と意気ごむアドルの前になんとエレナが……。うーんなんて好奇心の強い女の子なんだろう。頭がさがりますね。でも城の中は危険がいっぱいだ。連れて行くことはできないよ。ここで待っててちょうだいね

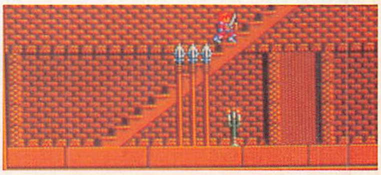

↑モンスターたちもパワーアップしてるから気をつけないと……。でもこいつなんかはまだ弱いほうだ。上から降ってくる星のような弾さえよけられればあとは足などをちょいとひと差しでコロリだ。図体だけはでかくてもたよりないやつだぜ


→バレスタイン城で最初のボス。鎖のついた鉄球を投げてくる。なにしろ動きが速いからあせるのだ


←タイミングを合わせてジャンプしてよけよう。あとはちくちくと相手を突くのみだ


↑バリヤーのようなものでおおわれているようだ


↑痛いんだよこの槍が。ちくちくするぜ


↑おっとっと、いきなり槍がにょきっと飛び出してきた。こいつに触れると大ダメージを受けてしまうからやっかいだね。おんなじように鎧の槍も動きがすばやくて、すぐに当たってしまう。この場面を突破するにはこの２つをいかにうまくよけるかにかかっているのだ

イースⅢモンスターズマニュアル

アドルを苦しめるモンスターをずらっと並べてみたぞ。みんな個性的なやつらだから覚えやすい。ぜひ名前を呼んでやってちょうだい。





イースⅢのモンスターたちは、ゲームの性格が変わったのも手伝って、特にザコキャラが個性的になった。ムチを使うシグルトなど攻撃方法も多種多様で、なかなかうまく弱点をつかむことが難しいのだ。前作までのように、ただ1つの方法では倒せないようになっているのだ。この付録中に書いてある攻略法はあくまでも参考だから、うまい倒し方はいくらでもある。しかしその反面、ボスキャラの攻撃パターンはかなり画一化している。特に鳥型のギャルバやリガティなどはある意味でほとんど同じ倒し方で倒せてしまうのが残念だ。

この点に関しては前作のほうが、あっといわせる攻撃の連続で、「次のボスキャラはどんな攻撃をしてくるんだろう」という期待をいだかせてくれたものだっただけに余計に残念でした。



MSX·FAN
11月号
特別付録

平成元年11月10日発行(毎月1回10日発行)第3巻第11号(通巻32号)昭和62年9月11日第三種郵便物認可